

# 「ピンクリボン」 推進目指し寄付

四国労金、県協議会へ

乳がんの早期発見や治療の大切さを訴える「ピンクリボン運動」を推進しよう  
と、四国労働金庫（小川俊理事長）は9日、ピンクリボンかがわ県協議会（久米川啓代表）に20万3780



円を寄付した。

四国労金は現金自動預払機（ATM）の引き出し1回につき1円を積み立て、四国各県でピンクリボンと同様の活動に取り組む団体に寄付している。5回目の今年は総額97万290円を贈った。

高松市浜ノ町の県医師会館で贈呈式があり、小川理事長が久米川代表に目録を手渡した。写真。寄付金は啓発活動や資材の作成などに役立てられる予定で、久米川代表は「貴重な寄付を有効に活用したい」と述べた。